

# 統合型DBを構築 維持管理支援と関係

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツは、静岡県焼津市、名古屋工業大学と共同で、全庁的な施設管理を進める「統合型データベース(DB)」と「維持管理業務支援ツール」を構築した。統合型DBは固定資産台帳の整備、施設の点検・診断や公共施設白書の更新を効率化し、施設再編計画など行政機能の強化に役立つ。維持管理業務支援ツールは、道路修繕の要望・対応の情報共

有化や現地確認作業、事務処理など業務改善を効率化する。将来的に統合型DBと維持管理業務支援ツールの両システム間でデータを関係させることにより、自治体の全庁的な施設管理の基盤となり得るとしている。

3者は2014年度に統合型公共施設DBを開発し、同市所有のほぼすべての公共施設の基本データを整理した。15年度には統合型DBを対象

に、将来のまちづくりと公共施設の管理、国土強靱化を戦略的に進めるツールとするため、研究開発とシステムの機能強化を進めてきた。

さらに、住民サービスの向上や橋梁点検の義務化対応などにより、業務量が増え、増加する道路インフラの維持管理業務を対象に、新たに維持管理業務支援ツールを開発、導入に向けた研究を進めてきた。

今後、統合型DBと維持管理業務支援ツールを焼津市役所の関係部署で試行運用し、本格運用に向けた準備を進める。